

令和6年度 当初予算案のポイント

教育委員会

1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる

- (1) 一人ひとりに合った学び推進事業 【令和6年度当初 9,882千円（令和5年度当初 10,255千円）】
個々の特性に応じた教育方法の在り方や特性を把握するアセスメントの活用、GIGA スクール構想をけん引するリーディング校の指定、自らが学習を調整し最適化する学びに取り組む学校への支援など、これまでの実証研究の効果検証を踏まえ、個別最適な学びを先進的に実践する「一人ひとりに合った学び実践校」の設置に向け具体的に検討
- (2) メタバースにおけるバーチャルな教育空間の活用検討事業 【令和6年度当初 194千円（令和5年度当初 ー千円）】
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、メタバースの教育的活用について検討
- (3) 未来の学校を創る校長等マネジメント力向上事業 【令和6年度当初 2,000千円（令和5年度当初 ー千円）】
各学校が独自のカリキュラムの実践や主体的に特色ある学校運営を行えるよう校長、中核教員を対象としたマネジメント力向上研修を実施
- (4) 魅力アップUP校支援事業、副校長・教頭マネジメント支援員配置事業、高等学校電子採点システム導入事業 【令和6年度当初 29,854千円（令和5年度当初 ー千円）】
専門的知見を取り入れた学校業務の見直し、副校長・教頭の負担軽減のための支援員配置、入学者選抜や定期考査等における採点業務の負担を軽減するためのソフトウェアを一部の高等学校に試験的に導入し、教員の長時間労働を解消
- (5) 県立高校再編実施計画検討事業、長野スクールデザイン(NSD)実施事業、県立学校施設整備事業 【令和6年度当初 969,726千円（令和5年度当初 41,399千円）】
「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した統合新校の目指す学校像や教育方針を検討するとともに、これからの新しい学びを支える学習空間デザインを取り入れた県立学校の施設整備を行うための施設整備基本計画を策定し当該計画に基づき学校施設を整備
- (6) 海外での学び推進事業（信州つばさプロジェクト）【令和6年度当初 36,239千円（令和5年度当初 38,250千円）】
長野県の高校生が、信州に根差した確かなアイデンティティと、世界に通じる国際的視野を持ち、将来、世界の様々な分野で活躍できるよう、信州つばさプロジェクトとして高校生の留学を支援

2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる

- (1) 特別支援学校改革事業、特別支援学校の図書館機能の充実事業、障がい特性に応じた ICT 機器等活用促進事業 【令和6年度当初 185,509千円（令和5年度当初 158,592千円）】
LD等通級指導教室及びことばの教室増設、特別支援学校の教育ニーズに応じた図書整備促進、図書館システムの導入、ICT・ATを活用し特性やニーズに応じた支援の充実などにより、特別支援学校改革を推進
- (2) 不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業 【令和6年度当初 4,580千円（令和5年度当初 681千円）】
不登校児童生徒の多様な学びの場の創出、市町村が関係団体と連携した支援体制を構築するため、多様な学び支援コーディネーターを配置
- (3) サマースクールを活用した多様な学びの機会創出事業 【令和6年度当初 14,766千円（令和5年度当初 4,649千円）】
子どもたちの多様な進路選択、興味関心に対応するため、民間団体等と連携し、学校外での多様な学びと海外留学への関心を高める機会として、国内外の社会人や大学生、高校生との交流型体験学習を行うサマースクールを開催
- (4) スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー活用事業 等 【令和6年度当初 363,601千円（令和5年度当初 348,698千円）】
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの増員による支援時間の拡充や相談窓口の開設により、児童生徒の悩みに寄り添い、安心して学校生活を送ることができる体制を充実

3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる

- (1) 学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業 【令和6年度当初 2,578千円（令和5年度当初 2,742千円）】
学校を社会に開かれた魅力ある学びの拠点とするため、地域との新たな連携・協働を担うコーディネーターの在り方について検討を進めるとともに、新しいモデルとなる高校も想定し研究校へコーディネーターを配置

4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

(1) 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業

【令和6年度当初 101,217 千円（令和5年度当初 43,559 千円）】

地域全体で中学生期のスポーツ・文化活動の機会を確保するため、引き続き運営団体等の体制整備を進めるとともに、指導者確保等の支援を充実

(2) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催準備事業、第82回国民スポーツ大会に向けた競技力向上事業

【令和6年度当初 680,335 千円（令和5年度当初 490,928 千円）】

「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催に向け、競技役員等の養成や市町村競技会場の施設整備への支援を行うとともに、トップコーチ等の指定・招へい等により競技力の向上及び維持・定着を目指し、各競技団体の選手強化の取組に対する支援等を拡充